

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月7日

上場会社名 ローランド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7944 URL <https://www.roland.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO兼CIO (氏名) 菱輪 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 袴田 裕一 (TEL) 053-523-0230
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	69,611	△2.5	6,482	△16.3	5,322	△25.4	4,288	△25.6
2023年12月期第3四半期	71,410	10.5	7,744	23.1	7,131	21.4	5,762	13.5

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 6,248百万円(△32.1%) 2023年12月期第3四半期 9,201百万円(△5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	155.45	154.15
2023年12月期第3四半期	210.77	208.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	80,447	41,805	51.6
2023年12月期	80,969	40,114	49.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 41,511百万円 2023年12月期 39,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	85.00	—	85.00	170.00
2024年12月期	—	85.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,900	△2.5	10,000	△15.8	8,700	△22.0	6,700	△17.8	243.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細については、本日(2024年11月7日)公表しました「通期業績予想の修正および期末配当予想の据え置きについて」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	28,163,038株	2023年12月期	28,163,038株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	514,213株	2023年12月期	722,886株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	27,588,567株	2023年12月期3Q	27,340,915株

(注) 普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託、従業員向け株式給付信託及び従業員持株会支援信託が保有する当社株式を含めています。なお、当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間は328,208株、当第3四半期連結累計期間は207,908株です。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2024年11月8日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ情勢等の地政学リスク、不安定な為替動向、物価の上昇、中国での景気停滞など、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

電子楽器の需要においては、コロナによるサプライチェーンの混乱に端を発したディーラー在庫調整の影響は概ね終息した一方で、コロナ需要からの反動減に加え物価高等の影響により、最終需要の回復には時間を要しています。当社では、最大需要期である第4四半期（10-12月期）及び、来期以降の需要回復フェーズに向け、需要創造型新製品の発売を計画的に進めると同時に、ブランド価値の維持向上のため、市場価格の適正化にも積極的に取り組みました。またコスト面では、中長期成長に向けた投資は計画通りに進める一方で、不透明な市場環境に機敏に対応すべく、販促経費等のコントロールに取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、69,611百万円(前年同期比2.5%減)となりました。損益につきましては、営業利益は6,482百万円(前年同期比16.3%減)、経常利益は5,322百万円(前年同期比25.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,288百万円(前年同期比25.6%減)となりました。

製品カテゴリーごとの販売状況（対前年同期比）は以下のとおりです。

【鍵盤楽器】売上高18,649百万円(前年同期比1.4%増)

電子ピアノは、中国での大幅な需要減少に加え、物価高、ディーラーの在庫調整等の影響を受けましたが、今期発売した新製品は好調に推移しました。

ポータブルキーボードは、新製品の投入効果により好調に推移しました。

【管打楽器】売上高20,250百万円(前年同期比1.8%減)

ドラムは、ディーラーの在庫調整影響に加え、大変好調であったサンプリングパットの需要に落ち着きが見られました。ドラムセットの実売は、競合の影響もあり苦戦しましたが、9月末から10月上旬に大型新製品を投入し、競争力の強化を図りました。

電子管楽器は、競合製品の増加等により、中低価格帯は苦戦が継続しました。

【ギター関連機器】売上高17,227百万円(前年同期比4.9%減)

ギターエフェクターは、主力製品であるコンパクトエフェクターの需要は堅調に推移しましたが、ルーパーシリズやマルチエフェクターの需要には落ち着きが見られました。

楽器用アンプは、ギターアンプは今期発売の新製品群が好調に推移しましたが、そのほかの製品群は、全体的に軟調に推移しました。

【クリエーション関連機器&サービス】売上高8,853百万円(前年同期比1.6%減)

シンセサイザーは、高価格帯製品や88鍵盤を搭載したステージピアノ型製品の需要に落ち着きが見られました。

ダンス&DJ関連製品では、今期発売した新製品群は貢献しているものの、既存製品の需要は軟調に推移しました。

ソフトウェア/サービス分野では、Roland Cloudにおいて、ユーザーのLTV(ライフタイムバリュー)を高めるためのコンテンツやサービスの提供を継続的に行い、会員数は引き続き増加しました。

【映像音響機器】売上高2,349百万円(前年同期比23.8%減)

ビデオ関連製品は、イベント需要はコロナ期から回復していますが、前年同期間中に発売した新製品や受注残出荷の反動減等が大きく影響し苦戦しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して522百万円減少し、80,447百万円となりました。その主な要因は、棚卸資産が3,784百万円増加した一方、次項に詳述するキャッシュ・フローの状況により現金及び預金が1,993百万円、売上債権が1,990百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して2,212百万円減少し、38,641百万円となりました。その主な要因は、借入金が894百万円、賞与引当金が527百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,690百万円増加し、41,805百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払いにより剰余金が4,722百万円減少した一方で、主要国通貨に対する円安進行により為替換算調整勘定が2,237百万円増加し、また親会社株主に帰属する四半期純利益が4,288百万円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.4ポイント増加し、51.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,993百万円減少（前年同期は482百万円減少）し、期末残高は10,889百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、主として税金等調整前四半期純利益及び運転資金の増加により、3,106百万円（前年同期に得られた資金は8,027百万円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、主として投資有価証券の売却及び事業譲渡による収入があったものの、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出により、692百万円（前年同期に使用した資金は1,761百万円）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、主として借入金の返済や配当金の支払い等により、5,947百万円（前年同期に使用した資金は5,922百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2024年2月14日に公表しました連結業績予想を修正しています。詳細につきましては、本日(2024年11月7日)公表しました「通期業績予想の修正および期末配当予想の据え置きについて」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,883	10,889
受取手形及び売掛金	13,805	11,815
商品及び製品	18,094	22,565
仕掛品	1,443	1,633
原材料及び貯蔵品	10,606	9,729
その他	2,311	2,598
貸倒引当金	△485	△596
流動資産合計	58,659	58,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,934	3,439
土地	2,328	2,332
その他（純額）	3,699	3,765
有形固定資産合計	9,961	9,536
無形固定資産		
のれん	3,129	2,878
その他	3,110	3,975
無形固定資産合計	6,240	6,854
投資その他の資産		
投資有価証券	1,107	680
その他	5,106	4,831
貸倒引当金	△105	△92
投資その他の資産合計	6,107	5,419
固定資産合計	22,309	21,810
資産合計	80,969	80,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,266	6,405
短期借入金	4,300	8,200
1年内返済予定の長期借入金	8,526	2,371
未払法人税等	415	143
賞与引当金	852	325
役員賞与引当金	39	10
製品保証引当金	335	296
その他	7,305	7,049
流動負債合計	28,041	24,801
固定負債		
長期借入金	10,056	11,417
株式給付引当金	252	227
役員株式給付引当金	96	64
退職給付に係る負債	249	261
資産除去債務	88	89
その他	2,069	1,780
固定負債合計	12,812	13,840
負債合計	40,854	38,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,641	9,641
資本剰余金	124	—
利益剰余金	27,334	26,613
自己株式	△2,207	△1,605
株主資本合計	34,892	34,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	22
為替換算調整勘定	3,728	5,966
退職給付に係る調整累計額	1,032	873
その他の包括利益累計額合計	4,915	6,862
新株予約権	70	45
非支配株主持分	235	248
純資産合計	40,114	41,805
負債純資産合計	80,969	80,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	71,410	69,611
売上原価	40,185	39,366
売上総利益	31,225	30,245
販売費及び一般管理費	23,481	23,762
営業利益	7,744	6,482
営業外収益		
受取利息	27	32
受取配当金	85	36
助成金収入	61	—
その他	19	10
営業外収益合計	194	79
営業外費用		
支払利息	105	115
為替差損	685	1,116
その他	16	7
営業外費用合計	807	1,238
経常利益	7,131	5,322
特別利益		
固定資産売却益	6	4
投資有価証券売却益	—	406
事業譲渡益	—	297
特別利益合計	6	707
特別損失		
固定資産除売却損	11	9
特別退職金	—	158
貸倒引当金繰入額	—	156
特別損失合計	11	325
税金等調整前四半期純利益	7,126	5,705
法人税、住民税及び事業税	1,584	966
法人税等調整額	△246	444
法人税等合計	1,337	1,410
四半期純利益	5,788	4,295
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,762	4,288

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 9月30日)
四半期純利益	5,788	4,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	△130
為替換算調整勘定	3,401	2,243
退職給付に係る調整額	△57	△159
その他の包括利益合計	3,412	1,953
四半期包括利益	9,201	6,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,158	6,235
非支配株主に係る四半期包括利益	42	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,126	5,705
減価償却費	1,747	1,855
のれん償却額	264	289
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△133	△285
受取利息及び受取配当金	△113	△68
支払利息	105	115
為替差損益 (△は益)	△112	723
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△406
固定資産除売却損益 (△は益)	4	5
事業譲渡損益 (△は益)	—	△297
売上債権の増減額 (△は増加)	1,279	1,710
棚卸資産の増減額 (△は増加)	453	△4,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	50	371
その他	△615	△980
小計	10,058	4,665
利息及び配当金の受取額	112	69
利息の支払額	△110	△115
法人税等の支払額	△2,033	△1,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,027	3,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,426	△1,091
有形固定資産の売却による収入	19	30
無形固定資産の取得による支出	△240	△940
投資有価証券の売却による収入	—	683
事業譲渡による収入	—	632
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△50	—
その他	△63	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,761	△692
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,061	3,900
長期借入れによる収入	10,700	4,010
長期借入金の返済による支出	△1,741	△8,804
株式の発行による収入	71	—
自己株式の売却による収入	139	284
配当金の支払額	△4,481	△4,694
その他	△549	△643
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,922	△5,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	△781	1,539
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△438	△1,993
現金及び現金同等物の期首残高	10,506	12,883
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,023	10,889

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、電子楽器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	210円77銭	155円45銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	5,762	4,288
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	5,762	4,288
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,340	27,588
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	208円16銭	154円15銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	343	232
(うち新株予約権(千株))	(343)	(232)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 役員向け株式給付信託、従業員向け株式給付信託及び従業員持株会支援信託が保有する当社の株式を、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算から控除する自己株式に含めています。なお、当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は前第3四半期連結累計期間は328,208株、当第3四半期連結累計期間は207,908株です。